

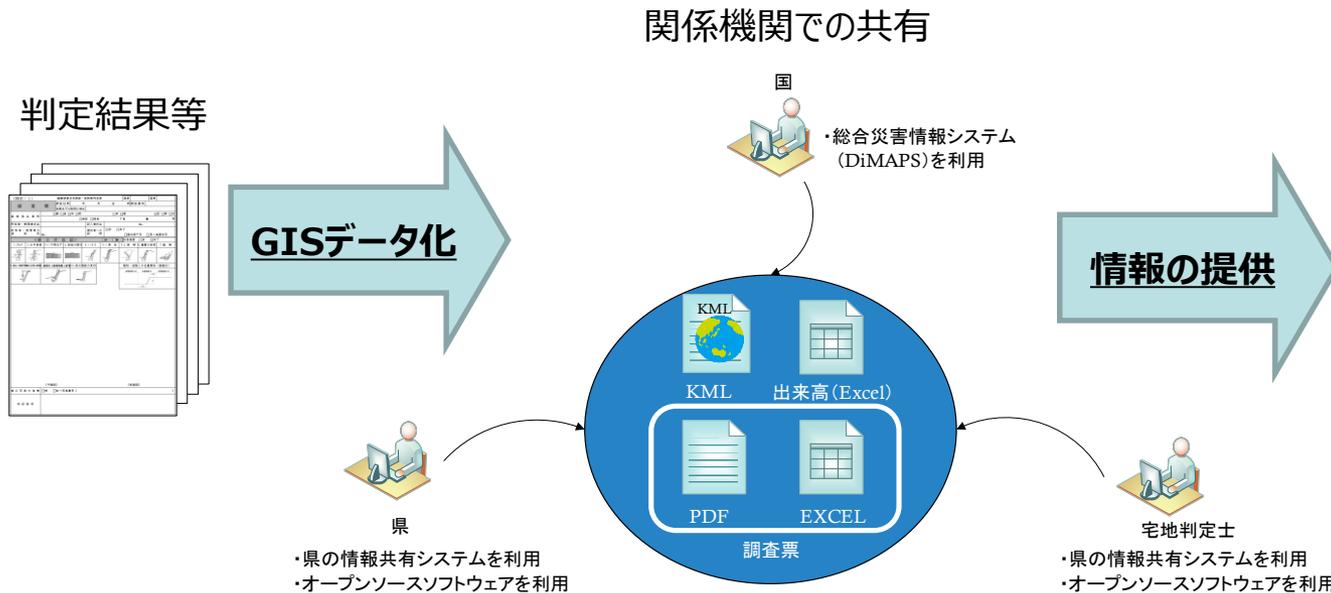
# 被災宅地危険度判定結果の情報共有マニュアルの概要

## マニュアルの目的

- 地震により多くの宅地被害が発生した場合、被災宅地危険度判定活動によって、多くの判定結果が寄せられることとなる。この情報を、被災者が復旧の目安に活用したり、被害状況の一覧性を持った整理を行い、生活再建支援等に役立てていく必要がある。
- 本マニュアルでは、汎用性のある、GISのデータフォーマットで整理する方法を示した。

## マニュアルのポイント

- 判定計画や判定活動の進捗状況を汎用性のある、GISフォーマットの電子データで整理する方法を提示（位置情報、判定結果、被災状況の写真を併せて、GISフォーマットの電子データで整理する。）
- 実際にエクセルマクロのシステムで、入力フォーマットを作成しており、その機能の説明とともに、操作の流れや入力手順を説明した解説を作成し、このフォーマットをマニュアルとして添付している。



事後復旧、生活再建への活用



応急対策、避難等への活用

